

令和5年度  
発生予察情報

## 発生予報第12号（概要版）

令和5年11月20日発行  
宮城県病害虫防除所  
(TEL:022-275-8982)

作物名	病害虫名	発生予報	備考
秋まき	アブラムシ類	発生量: 平年並	
ほうれんそう	ハダニ類	発生量: 平年並	

作物名	病害虫名	発生予報	備考
いちご	うどんこ病	発生量: 平年並	
	ハダニ類	発生量: 平年並	
	コナジラミ類	発生量: やや少	

より詳しい内容は、下記ホームページでご確認ください。  
宮城県病害虫防除所 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>  
次回, 発生予報第13号の発行日は12月18日(月)の予定です。

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で  
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所 メルマガ  
トップページ 登録フォーム

令和5年度 発生予察情報	<b>発生予報第 12 号</b> <b>—秋まきほうれんそう—</b>	令和5年 11 月 20 日発行 宮城県病害虫防除所
-----------------	---	-------------------------------

## — 12 月中旬までの発生予報と防除のポイント —

巡回調査: 11 月 13～14 日

天候予報: 仙台管区气象台 11 月 16 日発表

### 1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
アブラムシ類	—	平年並

#### 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果、寄生は確認されなかった。( / ±)
- (2) 高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( / +)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( / ±)

病害虫名	発生時期	発生量
ハダニ類	—	平年並

#### 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果、寄生は確認されなかった。( / ±)
- (2) 高温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( / +)

#### 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期・・・(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (－):早くなる要因 (空欄):該当せず  
発生量・・・(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (－):少なくなる要因 (空欄):該当せず

### 2 防除のポイント

#### (1) 共通事項

- ・病害虫の薬剤抵抗性発達防止のため、RAC コードが同じ薬剤の連用を避け、計画的にローテーション散布を行う。
- ・薬剤については『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する。  
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/miyagi>

#### (2) アブラムシ類

- ・吸汁による葉の変形や、多発時にはすす病を引き起こすため、周辺雑草の除草を行い侵入防止に努める。

#### (3) ハダニ類

- ・収穫適期を過ぎた株がほ場に残っていると発生源となりうるため、速やかにほ場から持ち出し適切に処分する。

#### 《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail:[byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で  
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム

## ー12 月中旬までの発生予報と防除のポイントー

巡回調査:11 月 14~15 日

天候予報:仙台管区气象台 11 月 16 日発表

### 1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
うどんこ病	ー	平年並

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発病株率及び発生地点率は平年並であった。( /±)
- (2)20℃前後が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( /+)

病害虫名	発生時期	発生量
ハダニ類	ー	平年並

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、寄生株率及び発生地点率は平年並であった。( /±)
- (2)25~30℃で乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

病害虫名	発生時期	発生量
コナジラミ類	ー	やや少

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、寄生株率及び発生地点率は平年より低かった。( /ー)
- (2)23~28℃が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( /+)

#### ※ 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期…(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):早くなる要因 (空欄):該当せず  
発生量…(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):少なくなる要因 (空欄):該当せず

### 2 防除のポイント

#### (1)共通事項

- ・病害虫の薬剤抵抗性の発達を防止するため、RAC コードの異なる薬剤を組み合わせ、計画的なローテーション散布を行う。
- ・薬剤散布を行う場合は、訪花昆虫や天敵への影響日数に注意する。
- ・いちごの農薬使用回数は、親株からランナーを切り離れた時点から収穫終了までをカウントする。
- ・薬剤は『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する。

## (2)うどんこ病・灰色かび病

- ・適切な温湿度管理やかん水、葉かき作業と予防防除を組み合わせ、発病予防に努める。

## (3)ハダニ類

- ・多発すると防除が困難になるため、ほ場をよく見回り発生初期から防除を徹底する。
- ・天敵の定着を促すため、放飼後1週間～10日間は農薬散布や葉かきを控える。
- ・天敵放飼後にハダニ類が目立った場合は、発生しているスポットへの気門封鎖剤の散布や、天敵に影響の少ない殺ダニ剤の散布を行う。葉裏にもよくかかるよう丁寧に散布する。
- ・本ほにUV-B電球形蛍光灯を設置し、ハダニ類防除としても利用する場合は、葉の裏にもUV-Bを当てるため花房受けに光反射資材の設置を行う。

※「普及に移す技術」第96号(令和3年発行)指導活用技術20「促成イチゴにおけるUV-B電球形蛍光灯と反射資材の併用によるハダニ類抑制効果(追補)」

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20200/847341.pdf>

## (4)コナジラミ類

- ・主に葉裏にいたので、薬剤散布は葉の表だけでなく植物体全体にかかるように散布する。
- ・多発すると排泄物(甘露)によるすす病を発生させるので、ほ場をよく見回り発生初期から防除を徹底する。
- ・本ほでラノーテープを用いる場合は、目安として、3ベッド(畝)毎に展張することで抑制効果が発揮される。
- ・ラノーテープは雌成虫が接触しないと効果が発揮されないため、作物の直上部に、設置が株から離れすぎないように草丈に合わせて展張する。使用基準は、10aにつき10～50㎡である(テープ200m～1000mに相当)。

### 《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: [byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で  
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム